

# 地方創生カレッジ in 函館

## 函館駅前・大門地区 創生シナリオ(まとめ)

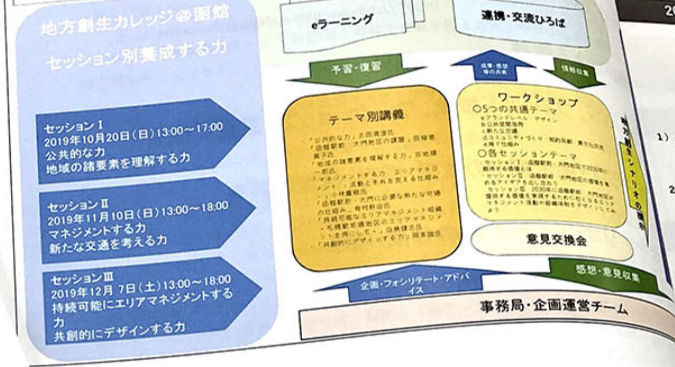
令和2年3月

発行者：公益財団法人 日本生産性本部  
責任編集：一般社団法人 地域マネジメント・アソシエイツ

### 「地方創生カレッジ in 函館」

講座スキーム図

人材育成及び実践力に係る展開スキーム



### 「地方創生カレッジ in 函館」 函館駅前・大門地区創生シナリオ(ワークショップ等の成果のポイント)

スキーム図



【地域の諸要素を理解する力】  
地域の諸要素(公共空間、歴史文化資源、人材、資金等)を理解し、活用することが出来る力

【マネジメントする力】  
特定、関係人口を理解し、マネジメントすることが出来る力  
ソーシャルビジネスをすることが出来る力  
実際の社会のニーズを把握しながら、それを地域独自の需要に置き換え、持続可能なビジョンを構築して提案出来る力

【共創的にデザインする力】  
エリアに既成する要素(人材、資金等)を積極的に活用しながら、地域の諸要素を駆使し、新たな価値を生み出すことが出来る力

### 2030年函館駅前・大門地区におけるミッション・ビジョン・バリュー

ミッション (存在意義)  
「魅力的な街・函館」のシンボルとなる地区をつくる

ビジョン (将来のありたい姿)  
外から内から集う多様な人々を歓迎し、「魅力的な街・函館」を象徴する地区をつくる

バリュー (大切にすること・行動指針)

- 1) グランドレベル・デザイン  
豊かな自然の小気文化を生かすとともに、中高層建物のグランドレベルを、街に開かれた空間として活用・演出し、道路からにぎわいの生まれる街を創出します。
- 2) 公共空間の活用  
駅ナカや駅前、グリーンベルトなどの広域的な公共空間を生かすとともに、道路空間の利用へのニーズの変化に応じた公共施設を設け、交流や交歓が生まれる街を創出します。
- 3) 新たな交通  
広域交通の拠点として、地域交通との結節点として、移動しやすい交通アクセスを提供するとともに、よりスマートなヒトとモノの移動の仕組みを創出します。
- 4) コミュニティづくり・知的共創・異文化交流  
多様な文化・多様な価値観の人々が集い、交流・交歓からさらに創発的な文化を創出できるように、豊かな包容力を有する場・コミュニティづくりを支援します。
- 5) 稼ぐ仕組み  
市民や観光客が本道に求めるサービス、新たな交流・交歓を呼び起こすサービスの提供により、経済的に輝ける仕組みを創出するとともに、街全体の公共的価値を高め地価上昇を呼び起こす仕組みをつくります。

### グループ構成

- 1) グランドレベル・デザイン
  - Aグループ
  - Bグループ
- 2) 公共空間の活用
  - Cグループ
  - Dグループ
- 3) 新たな交通
  - Eグループ
  - Fグループ
- 4) コミュニティづくり・知的共創・異文化交流
  - Gグループ
  - Hグループ
- 5) 稼ぐ仕組み
  - Iグループ
  - Jグループ